

ほけんだより



令和3年8月26日

合志楓の森中学校 保健室

文責 橋爪 昭子

新型コロナウイルス感染症を予防しよう！

現在、全国的に新型コロナウイルス感染症が増えていて、熊本県でもリスクレベルが「レベル5 厳戒警報」となっています。今回の第5波では10代以下の子どもたちの感染増加が問題となっています。今まで行ってきた感染対策を確実に行って、自分や家族、友だちの命を守りましょう！

○ こまめに石けんで手を洗う



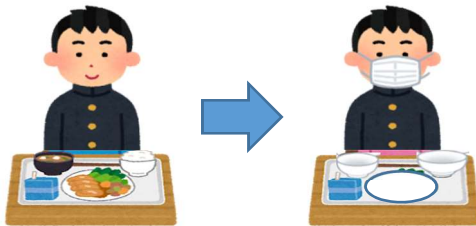
○ マスクをつける

マスクの素材については、下記を参考にしてください。汚れたり、ひもがとれた場合などのために、予備のマスクをカバンに常時入れておきましょう。

○ 換気をする(授業中・休み時間)



○ 給食の時間は、絶対にしゃべらない



<お願い>

- ・ 朝起きて、体温測定をして熱がある場合や、熱がなくても風邪症状、だるい、息苦しい、味覚・嗅覚がいなどがあれば、休んでください。
- ・ 同居家族に、上記のような症状がある場合には、登校しないで自宅待機してください。

■ マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
	100%	20%	18-34%	50%	80%	90%
	100%	30%	55-65%	60-70%	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)	

厚生労働省は、新型コロナウイルスに関する Q&A の中で、「マスクの素材について、一般的なマスクでは、不織布マスクが最も高い効果を持ちます。次に布マスク、その次にウレタンマスクの順に効果があります。」と回答しています。それぞれの家庭の状況や、肌との相性などあると思いますが、不織布マスクをつけたほうが、感染予防の効果もより高まるのではないかと思います。